

【2018 年度 シラバス】

時間割コード		開講区分	春学期
ナンバリングコード ※	3B1211	曜日・時間	(集中)
開講科目名	リテラシーC (地域再生のための情報活用法)	単位数	2
担当教員	森栗 茂一、辻 寛、板倉 信一郎、 建設コンサルタンツ協会近畿支部	年次	全研究科、学部3年以上の全学生、社会人(若干名))
講義題目	地域再生のための情報活用法		
開講言語	日本語		
授業の目的	<p>本講義では、以下の(1)～(5)の修得を目的とします。</p> <p>(1) 行政機関が公開しているまち・みちづくりに関する各種データの検索方法</p> <p>(2) 統計データやグラフ、表の読み取り方(リテラシー)</p> <p>(3) 課題の原因分析や解決法を探るためのデータ分析の基礎的な手法</p> <p>(4) 分析結果や解決策を、市民に分かりやすく説明するためのデータ表現</p> <p>(5) 市民との対話の中で分かりやすく説明あるいは質問に答えるスキル</p>		
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関が公開している情報の検索、データ処理ができる ・統計・グラフ・図表(地図)等の限界と可能性を推量できる ・統計・グラフ・図表(地図)等を用いて、一般市民に分かりやすく説明し、質問に対応できる 		
履修条件・受講条件 ※	<ul style="list-style-type: none"> ・まち・みちづくりや、データ分析に関心のある学生を想定しています。 ・受講にあたり、個人情報も含め、特別な配慮を要する学生はガイダンス後に申し出ること。 ・ディスカッションと演習を中心に講義を進めるので、受講者の積極的な参加を期待する。 ・<u>インターネットや表計算ソフト、プレゼン用ソフト等を用いるので、wi-fi 接続機能及び表計算ソフト(Excel など)、プレゼン用ソフト(PowerPoint など)を搭載したパソコンを持参すること。</u> ・データ分析やグラフ・図表等の作成に際して受講生間で、スキルに差があると思われるので、講義室(wi-fi 環境あり)を講義後一定時間開放し、自学自習に充てることのできるよう配慮します。 ・本講義は、建設コンサルタンツ協会近畿支部の全面的なご協力の下に行われます。 		
授業計画	<p>第1回：4/12(木)6限オリエンテーション(豊中・全学総合教育棟4階424室)</p> <p style="padding-left: 40px;">4/19(木)6限オリエンテーション(工学研究科P1-211講義室)</p> <p>第2回：5/19(土)3限 ケース説明/データ検索1</p> <p>第3回：5/19(土)4限 データ検索2</p>		

	第4回：5/19(土) 5限 グループ分け／グループワーク 1
	第5回：5/20(日) 2限 モデレーションとその重要性について
	第6回：5/20(日) 3限 統計精度とリテラシー
	第7回：5/20(日) 4限 データの加工と表現
	第8回：5/20(日) 5限 グループワーク 2
	第9回：6/2(土) 2限 説明の仕方／課題発表
	第10回：6/2(土) 3限 データ分析
	第11回：6/2(土) 4限 グループワーク 3
	第12回：6/3(日) 2限 交通まちづくり事例
	第13回：6/3(日) 3限 グループワーク 4
	第14回：6/3(日) 4限 発表
	第15回：6/3(日) 5限 振り返り
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり・地域づくりの課題を見つけて解決策を考えることは、「地域経営」と同じです。 ・そのためには、様々なデータを集めて分析し、判断に必要な情報を得ることが大事です。 ・データ分析を通じて、本質的な問題を発見した時、想定したシナリオを検証して仮説が正しかった時、それがまちづくりや地域づくりに貢献する時は、本当に達成感がありますよ。
授業外における学習	・課題に対してグループワークを行い、解決策を発表していただく際に、授業時間外における学習、作業が必要となる場合があります。
教科書・参考資料 ※	講義時に適宜資料を配布します。
参考文献 ※	「授業における発言等」 40% 「課題（パワーポイント）」 30% 「授業への出席」 30%
成績評価	・講義への参加 50%、ディスカッション時の発言やプレゼンテーション等 50%
キーワード ※	まちづくり・地域づくり、e-Stat、パーソントリップ調査、ビッグデータ